

令和 5 年度事業の総括

令和 5 年度の沖縄県入域観光客数は 863 万 2,600 人で、対前年度比で 175 万 8,000 人増の率にして 25.9%の増加となった。これまで最多の 1,000 万 4,300 人を記録した平成 30 年度に対しては、85.3 %の水準まで回復している。

国内客は、対前年度比で 69 万 4,600 人、率にして 90%増 726 万 4,910 人の増加となった。5 月 8 日に新型コロナが「5 類感染症」に移行し、県内イベントが通常開催されたほか、全国旅行支援等の需要喚起策により、国内旅行需要を取り込むことができたこと、また、修学旅行等の回復も要因として考える。

外国人観光客については、126 万 3,500 人となり、対前年比 158%増の 106 万 3,500 人の増加となった。

全体的な増加の要因としては、令和 4 年 10 月に水際対策が大幅に緩和されて以降、航空路線やクルーズ船の再開が続いたことが増加の要因として考えられる。

名護市観光協会としても、令和 5 年度は予定通りの事業を行うことができた。

まず初めに、「第 45 回名護市長杯争奪全島ハーリー大会」を 4 年ぶりに開催する事ができ、関係者と共に楽しみながら無事に大会を終えることができた。

観光振興の施策として、名護市観光課と連携し「観光客誘致プロモーション事業」を実施した。観光事業者と市内事業者が新たに連携して観光客を誘引し、滞在・周遊促進を図ることを目的として、セミナー・ワークショップ等を行い、事業者間の課題の共有や商品開発のイメージから観光コンテンツの作り方等を学習し、商品開発に向けての第 1 歩を踏み込むことができた。

また、名護市をはじめ商工会・観光協会と連携を図りふるさと納税返礼品増強の県外での PR 強化に努めた。対前年度比 145,940,875 円増の 464,740,000 円、率に 145.78%の増加となった。

第 50 代の名護さくらの女王選考会も行い 3 名が選出され、第 61 回名護さくら祭りのパレードでお披露目した。夏場の台風や暖冬の影響でさくらの開花が厳しい状況となり 3 分咲きの発表となったが、祭り当日は天気にも恵まれ、気温も例年より暖かく最高な祭り日和となり、二日間の来場者数 15 万 4,728 人となった。

人流データーを活用して、情報を分析し来訪者の属性や立ち寄りスポットが明確にでき、当協会が把握していない観光客の立ち寄りスポットを分析することで名護市内にある新たな観光資源の開発にも繋げることができる『沖縄観光地域カルテ』を沖縄観光コンベンションビューロー (OCVB) より他の観光協会より先駆けていち早く取得し、市当局と人流データーの情報共有を図りながら第 3 次観光振興基本計画の策定等に活用していきたいと考えている。

結びに、北部広域市町村圏事務組合を中心に地域連携型 DMO 設立に向けて準備にとりかかっており、北部地域観光協会・地域関係団体等連携を図り北部地域の資源を最大限に活かしながら観光振興に取り組んで行く。

【会 議】

第 1 回理事会 【令和 5 年 6 月 9 日（金）14 時～名護市産業支援センター5 階会議室】

- ・令和 5 年度事業報告及び付属明細書の承認の件
- ・令和 5 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び付属明細書並びに財産目録の承認の件
- ・理事候補者名簿承認の件
- ・理事長・副理事長・常務理事選定の件
- ・評議員開催日日時及び場所並びに議案事項について

第 1 回評議員会 【令和 5 年 6 月 27 日（火）15 時 30 分～

名護市産業支援センター5 階会議室】

- ・令和 5 年度事業報告及び付属明細書の承認の件
- ・令和 5 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び付属明細書並びに財産目録の承認の件
- ・理事選任承認の件

第 2 回理事会 【令和 5 年 11 月 20 日（月）13 時 30 分～

名護市産業支援センター5 階会議室】

- ・令和 5 年度観光客誘致プロモーション事業及び
名護市観光振興支援事業について
- ・名護市ふるさとまちづくり寄付金事業プロモーション業務委託について
- ・令和 5 年度収支補正予算（案）承認について

第 3 回理事会 【令和 6 年 3 月 27 日（水）15 時～名護市産業支援センター5 階会議室】

- ・令和 6 年度事業計画（案）について
- ・令和 6 年度収支予算（案）について

I 【公益目的事業】

1 観光宣伝誘客・情報提供事業

(1) 観光案内

国内外の観光客からの案内窓口や電話による問い合わせが徐々に増加しており、観光情報や地域情報について、パンフレットや市内マップ等で各種情報提供を行った。

(2) ホームページによる情報提供及び発信

ホームページによる市内の観光地・観光施設・宿泊施設等の情報・各種イベント情報を掲載し、プロ野球キャンプ・賛助会員の紹介等に努めている。

(3) 観光パンフレットの作成・配布

『名護のツボ』と『名護市観光ガイドブック』のパンフレットや名護 GOGO マップを、宿泊施設・観光施設や観光協会窓口で配布を行った。

その他、北部広域市町村圏事務組合と連携事業した県外 PR にも活用した。

(4) ポスターの作成・配布・掲載

名護さくら祭りのポスター3,000 枚を作成し、県内外へ情報を発信した。

JAL/JTA セールスの日本全国 25 ヶ所の空港窓口へ、さくらの贈呈とポスターの配布を行い本部半島（名護・本部・今帰仁）三大さくら祭りの PR を行った。

(5) 県内外宣伝 PR 活動

(ア) マスコミ関係者への取材協力

FM やんばるにおいて、イベント（ハーリー大会・さくら祭り）の PR を行った尚、やんばる経済新聞での市内観光に関する取材も行った。

(イ) 名護市親善大使の派遣

名護さくらの女王の活動も、昨年度 24 件に対 43 件の行事等を行った。

また、北海道日本ハムファイターズ応援ツアーやふるさと納税友好都市（枚方市・滝川市・八幡平市）の物産展等に参加し名護 PR を行った。県内の活動として、ツール・ドおきなわ表彰式の運営補助等も行った。

(ウ) 観光キャラクター活用事業

名護市の公認キャラクター「名護親方」着ぐるみについては、名桜大学祭の交流イベントをはじめ名護警察署関連の事業等に使用していただき合計 11 件の利用があった。

(エ) 沖縄修学旅行説明会の実施

「令和5年度沖縄修学旅行相談会 in 大阪」(令和5年12月25日)

(場所: コングレコンベンションセンター ルーム2-3)

出展: 21社、来場者: 学校・旅行社・他 73名

名護市で実施できる「SDGs」や「探究学習」のプログラムの発信、今回、ふるさと納税を通して名護市の特産品等を紹介した。他にも、名護の平和学習プログラム(名護博物館)の紹介も行った。

(オ) 第45回名護市長杯争奪全島ハーリー大会

4年ぶりの開催となったが、台風接近により8月13日の予備日に開催

チーム数も予定の180チームから151チームにとどまったが、関係者の協力により無事に大会を終えることができた。

(カ) 第61回名護さくらまつり

今年は、夏場の台風や暖冬の影響でさくらの開花が厳しい状況であり、祭り当日は3分咲きの発表となった。しかし、祭り2日間は天気にも恵まれ気温も例年より暖かく最高な祭り日和となり、二日間の来場者数154,728人となった。

(キ) ふるさと納税名護PR活動

令和5年度件数8,241件(令和4年度8,986件)対前年度より745件減。

令和4年度寄付金額: 318,799,125円

令和5年度寄付金額: 464,740,000円 対前年度145.78%増

※増強の要因として、ふるさと納税のポータルサイト増(5件→7件)と返礼品の商増(8社→36件)全体80社・件数556

※返礼品人気商品: ①ホテル館内利用券②クーポン券(楽天)

※ポータルサイト(ふるさとチョイス、JTBふるぽ、楽天、ふるなび、一休.com、新規①ANA、②ふるさとプレミアム)

(ク) 沖縄北部地域観光協会連携

北部広域市町村圏事務組合を中心に北部地域観光協会連携による、北部地域の資源を最大限に活かした観光地経営が可能となり市町村や産業間連携による観光関連産業の成長に寄与する目的で地域連携型DMO設立に向けて準備にとりかかっている。

(ケ) 観光客誘致プロモーション事業

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、本市観光産業の回復・発展

目指すため、滞在・周遊促進を実現する広報活動、独自商品・宿泊商品の販売促進を

具体化させ、秋期プロモーション強化期間(第3弾・年末7515キャンペーン)の誘客

を促進した。

①各プロモーション実績数

ポスター・チラシの掲示：161 施設

7515 キャンペーンの告知（SNS 投稿、ホームページ掲載等）：62 件

独自に実施したプロモーション：3 件

セミナー・ワークショップで企画・造成した商品の販売：3 件

②旅ナカクーポン（デジタルプレミアム商品券）

加盟店舗：80 店舗 旅ナカクーポン購入数：11,167 枚

利用総額：16,637,136 円 追加消費額：1,792,340 円

③スタンプラリー

加盟店舗：68 事業社 参加者：776 名

スタンプ総数：1,736 個（3 か所以上訪問：258 回）

2 受入体制強化事業

(1) スポーツコンベンション受入支援

北海道日本ハムファイターズ春季キャンプの受入れについて、ファイターズ名護協会（事務局：商工会）と連携し、球場周辺をのぼりや花壇の設置作業を行った。名護ファイターズクラブ後援会（事務局：観光協会）において、2月25日・26日のオープン戦の応援やチケット販売の協力を行った。

(2) 修学旅行における体験学習等の推進

沖縄県の入込観光客数（令和5年度 863 万 2,600 人 対前年比で 175 万 8,000 人増）同様に、県内へ訪れる修学旅行も、令和4年度 1,482 校 264,131 人と増え、対前年度と比べても解るように、名護市における体験学習のニーズは高い傾向にある。

ハーリー体験参加者数：1,001 名（昨年度：253 名）

まちなか散策参加数：148 名（〃：97 名）

平和学習参加数：211 名（〃：131 名）

(3) 名護さくら開花促進プロジェクト（名護城のさくら整備に関する

市内各地に咲き誇る「さくらと花のまち名護」を目指し、名護市とさくらの会会員と連携し、名護さくら開花促進プロジェクト年2回開催、名護城公園及び周辺地域にて桜の育樹活動の実施を行った。

① 令和5年10月21日（土）9：00～ 参加者 97 名

② 令和6年3月16日（土）9：00～ 参加者 106 名

3 調査・研究事業

教育旅行の誘致拡大を図る目的で、沖縄県・OCVB 主催の沖縄修学旅行相談会 in 大阪へ参加、併せて市内事業者と現地の旅行会社へプロモーションを行った。

リゾートウエディングの誘客受入強化を図る目的で、沖縄ウエディング協会と連携し名護市各支部区長会にて「ロケーション届け出事業の提案」を実施、同時に各区のフォトスポットについての提供依頼を行った。いずれも調査継続中である。

4 各種イベントの開催並びに主管事業

- ① 2022 北海道日本ハムファイターズ札幌応援ツアー【7/11～14 実施】
- ② 第 45 回名護市長杯争奪全島ハーリー大会【8/13 実施】
- ③ 第 50 代名護さくらの女王選考会【12/16 実施】
- ④ 第 61 回名護さくら祭り【1/27・28 実施】

5 各種イベントの協力事業

- ① 第 29 回羽地ダム鯉のぼり祭り【祭り実行委員会主催 中止】
- ② 第 42 回名護夏祭り【商工会青年部主催 7/29・30 実施】
- ③ 第 33 回名護市青年エイサーまつり【祭り実行委員会主催 9/17 実施】
- ④ 第 35 回ツールド・おきなわ【ツール・ド・おきなわ協会主催 11/11・12 実施】
- ⑤ 北海道日本ハムファイターズ春季キャンプ【2 月/1 か月間実施】

6 観光美化事業

- ① 名護漁港構内のクリーン活動【8/14 実施】
- ② 名護さくら育樹活動
名護市、さくらの会・観光協会、他市民総勢 150 名余りが参加をして 10 月と 3 月の年 2 回、名護城周辺の草刈りや肥培管理を実施した。

II 【収益事業】

(1) 市営駐車場指定管理事業

名護市港駐車場の一般利用について、昨年度件 11,058 件の利用者に対し今年度は件で 14,818 件の 3,760 件の増加となった。がじゅまる駐車場の一般利用については、昨年度 1,843 件に対し今年度は 1,814 件で 29 件減となった。

当協会として、メインコンセプトに掲げている「おもてなしの心・安心・安全な環境づくり」を目指し利用しやすい駐車場管理運営業務を遂行し、市民をはじめ県内外のお客様が有効的に利用できるよう市街地の説明やパンフレット等を配布し観光案内機能を備えたサービスの提供で満足度を高める努力を行っている。環境整備についても担当部局と連携し、安心、安全な駐車場の整備に努めている。

Ⅲ 【その他】

(1) 賛助会員状況

令和5年4月1日現在：177社

令和6年3月31日現在：177社【新規入会：5社 退会：5社】

(2) ホームページ訪問状況

月	セッション数 令和4年度	セッション数 令和5年度	増減
4月	7,845	8,949	1,101
5月	9,532	10,103	571
6月	15,004	14,872	△132
7月	22,700	38,753	16,053
8月	15,545	19,131	3,586
9月	13,602	14,527	925
10月	12,282	12,728	446
11月	19,538	11,416	△8,122
12月	14,577	19,901	5,324
1月	49,864	39,837	△10,027
2月	16,967	16,406	△561
3月	11,333	10,397	△936
合計	208,789	217,020	8,231

上半期、観光客の増加により特にファミリー層が増え、海水浴場や観光施設等の情報検索が増加したものと伺える。

7月は名護夏祭りの花火やハーリー大会の問い合わせも多々あり増加の要因として考えられる。下半期11月において、前年度は全国を対象とした観光需要喚起策「全国旅行支援」や「おきなわ再発見 NEXT」が実施された時期で県外からのアクセスが増加したことから、対前年比8,122件の差異となったと考えられる。

名護さくら祭りも前年度は、60回の節目とコロナ明けの祭りを楽しみにしていた客のマインドが高まり、過去最高の来場者数204,048名となった事がホームページの訪問件数の増加につながったと推察され、対前年比10,027件の差異となったと考えられる。

年間を通して、対前年度8,231件増加の率にして103%増となった。